

事前質問・意見一覧表

4. 防災力の強化

(1) 防災体制の強化

質問

No.	内容	担当課
1	<p>意見への対応状況：P3 5</p> <p>・津波被害を受けた地域における防災教育や防災訓練など、官民・地域の頑張りと努力はすばらしいと受け止める。一方で、中心街や、人が集まるイベントや、高層ビルなどにおける防災対策は現在どういう状況なのか。</p> <p>【回答欄】</p> <p>・中心街の施設ごとでの防災教室や避難訓練は実施している事例はありますが、中心街という地域やイベント等では行っておりません。</p>	防災危機管理課
2	<p>意見への対応状況：P6 11</p> <p>・「自家用車の燃料については、平時から早めの給油を心がける、災害時には相乗りでの通勤を行うなど、個人の取り組みが重要であると考えております。」とのことですが、これらのことをどのように周知していくのでしょうか。</p> <p>【回答欄】</p> <p>・広報はちのへや市ホームページ等を活用した広報活動や、町内会などで実施する防災講話等で周知します。</p>	防災危機管理課
3	<p>意見への対応状況：P6 14</p> <p>・「津波避難ビルに指定している6施設及び旧八戸消防署」とありますが、耐震状況を教えていただきたい。</p> <p>【回答欄】</p> <p>・津波避難ビルに指定している施設について、耐震性を有することを確認済みです。</p> <p>・旧八戸消防署は耐力度が低く耐震性がありません（津波避難ビルではありません）</p>	防災危機管理課
4	<p>施策シート：P1 参考指標の動向</p> <p>・災害協定の締結は、災害時の多様な支援につながり、復旧の促進に資することになると思います。44協定の種別や内容の概略を教えてください。また、今後予定されている協定があるとすればどのようなものなのでしょうか。</p> <p>【回答欄】</p> <p>・44協定の内容等については、別紙のとおりです。</p> <p>・今後については、現時点で、災害時の防災関係機関の車両待機場所の提供についての協定締結に向けた協議を重ねております。</p>	防災危機管理課
5	<p>施策シート：P3 3</p> <p>事業所等における業務継続計画の策定・充実</p> <p>・民間事業者に対し業務継続計画策定のためのセミナー等を実施したとのことであるが、民間事業者の策定状況について、分かる範囲でお伺いしたい。</p> <p>【回答欄】</p> <p>・内閣府 平成25年度企業の事業継続及び防災の取組に関する実態調査 資本金10億円以上の大企業のBCP策定率：53.6% 資本金5千万～10億円等の中堅企業のBCP策定率：25.3%</p> <p>・市内事業者の策定状況は、把握していない。</p>	商工政策課

No.	内 容	担当課
6	<p>施策シート：P4 6</p> <p>総合防災訓練・地区防災訓練の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成25年の総合防災訓練では、防災士によるスライドを使った防災指導があったと記憶している。地区防災訓練でも防災士による指導は行われていますか。なければ、ぜひ実施していただきたい。 <p>【回答欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校での防災教室等で、防災士による防災指導を行っており、地域での防災訓練の際、青森県防災士会へ相談すれば随時対応すると伺っています。 	防災危機管理課
7	<p>施策シート：P4 7</p> <p>図上防災訓練の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 避難所に派遣される職員は、1地区何名で、どのような基準で選ばれていますか。震災後、改善された点はありますか。 <p>【回答欄】</p> <p>(市民課・国保年金課)</p> <ul style="list-style-type: none"> 避難所班として定められている課員が、1避難所に2名配置 改善点は各避難所に従事職員が決まっていること 	防災危機管理課 市民課 国保年金課
8	<p>施策シート：P6 11</p> <p>津波避難ビルの指定・整備検討</p> <ul style="list-style-type: none"> 沼館地区津波避難ビル整備事業の進捗状況はいかがですか。着工、完成の見込みはいつごろでしょうか。 <p>【回答欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> H26年度 基本・実施設計、地質調査 H27年度 本体工事契約(下半期) H28年度 年度末竣工見込み 	防災危機管理課
9	<p>施策シート：P7 12、P8 17、P12 26</p> <p>小・中学校における防災体制の強化</p> <p>小・中学校における避難所機能の整備</p> <p>防災行政無線の増設</p> <ul style="list-style-type: none"> 無停電電源装置、非常用発電機の設置場所、防災行政無線子局の機器収納盤の位置など、洪水や津波など浸水への対応はどのようになっていますか。 <p>【回答欄】</p> <p>(教育総務課)</p> <ul style="list-style-type: none"> 無停電電源装置(UPS)の設置 33校(小学校22校 中学校11校) UPSは震災直後に、震災の発生アナウンスや避難誘導を目的に放送室に設置 非常放送設備 37校(小学校24校 中学校13校) <p>(防災危機管理課)</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成24年度に全小中学校へガソリン発電機を配備しており、洪水や津波等の浸水が予想される施設について、高い場所へ保管するよう依頼します。 防災行政無線子局の機器収納盤については、津波の浸水深を考慮し概ね3m～5mの位置に設置しております。 	教育総務課 防災危機管理課
10	<p>施策シート：P7 14</p> <p>新学校給食センターの整備検討</p> <ul style="list-style-type: none"> 給食センターに食事提供機能を付与しないとありますが、食材の活用(提供)についてはどうなのでしょう。 <p>【回答欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> 給食センターから提供する給食の食材については、当日の朝の納品としています。納品後は、すぐに調理作業に入るため、その食材の提供は難しいと考えます。 	学校教育課

No.	内 容	担当課
11	<p>施策シート：P8 15</p> <p>物資供給等災害時における支援協力協定の検証・改定</p> <p>・協定を締結した事業者・団体は八戸市総合防災訓練に参加しているのでしょうか。</p> <p>【回答欄】</p> <p>・平成26年度は、協定締結の44団体中、23団体が参加を予定しています。</p>	防災危機管理課
12	<p>施策シート：P11 25</p> <p>災害時における広報体制の検証・強化</p> <p>・ほっとスルメールの加入件数は、小・中・高の児童・生徒数に対する保護者数から予想すると、少ないように思われる。防災・防犯の両面を考慮し、加入を促さないでしょうか。</p> <p>・ほっとスルメールの加入件数について、数値目標はあるのか。もし数値目標があり、まだまだ足りないというのであれば、これからの対応予定をお聞きしたい。</p> <p>・ほっとスルメールの加入促進啓蒙活動についてですが、広報はちのへにQRコードとともに掲載されておりますが、八戸市のホームページでは「安全安心・緊急防災」をクリックしないと、ほっとスルメールのQRコードにいけないので、トップページへ持ってくることはできませんか。</p> <p>【回答欄】</p> <p>・学校安全情報の登録状況は、市内の小中学校の児童・生徒数は約19,500名に対し、登録件数は約17,500件であり、広く浸透しているものと考えます。</p> <p>・高校生には学校安全情報を配信していませんが、気象情報等の一般登録の加入を市内各高校にお願いしています。</p> <p>・加入件数について、具体的な数値目標はありませんが当面は4万件を目標としております。(現在は約3万6千件)</p> <p>・今年2月からスマートフォン向けアプリの運用も開始し利用が増えております。</p> <p>・市ホームページのトップページへのQRコードの掲載にあたっては、担当の広報統計課とも協議が必要ですので、今後検討してまいります。</p>	防災危機管理課
13	<p>施策シート：P12 27</p> <p>障がい者等への情報伝達体制の検討(在住外国人等)</p> <p>・在住外国人等への対応について、ほっとスルメールは日本人同様に配信されているのかどうか。在住外国人等の登録状況はどのようになっているか。</p> <p>【回答欄】</p> <p>・配信情報 気象庁配信の津波情報 緊急情報(大雨や洪水などの警報・注意報、避難勧告・避難指示、避難所開設情報など) ライフライン情報(電気・ガス・水道の事故などに関する情報) 火災の発生情報</p> <p>・配信実績 H26.4.3 津波注意報発表、解除 2件 H25.9.16~17 大雨による避難所開設情報 5件 H26.3.20 大雪に関する気象情報 1件 H26.4.3 津波注意報に伴う避難所開設情報 2件</p> <p>・登録状況 31名(八戸市の外国人住民数786名)</p>	市民連携推進課

No.	内 容	担当課
14	<p>施策シート：P16 施策を取り巻く課題や論点</p> <ul style="list-style-type: none"> 日頃からの防災訓練は非常時に大きな効果を発揮します。また、市街が変化する地においては適時に避難計画等の見直しが求められます。こうした防災への対応は毎年というように継続的に未永い取り組みが大切となると思います。今後の実施や体制などの見直しについてお教えてください。 	防災危機管理課
	<p>【回答欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成26年度に八戸市地域防災計画、八戸市津波避難計画の改訂を予定しています。 来年度以降も法改正や国等の指針に応じて、適宜改訂を実施いたします。 	

意 見

No.	内 容	担当課
15	<p>意見への対応状況：P3 5</p> <ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災の資料写真を各地区公民館事業や学校・幼稚園などのバザーや文化祭に貸し出し、家族で見ってもらうなど、市民が自分のこととして防災を考える機会を提供し、東日本大震災の記憶を風化させない取り組みが必要である。 	防災危機管理課
	<p>【回答欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災の写真展を年2回程度実施しています。 学校や公民館行事での使用については、必要に応じて検討したいと考えております。 	
16	<p>意見への対応状況：P4 6</p> <ul style="list-style-type: none"> 避難路・避難所サインについて、千葉県旭市、神奈川県逗子市、真鶴町、高知県などは、停電時のことを考え日没後12時間光る蓄光塗料の採用をしているようです。街灯、太陽光発電システム、蓄電池に比べ、安価で早期にたくさん整備でき、内閣府も有効性を認め推進しています。ご考慮ください。 	防災危機管理課
	<p>【回答欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> 誘導標識については現在反射材で検討しておりますが、蓄光塗料についても考慮しながら検討します。 	
17	<p>意見への対応状況：P6 16</p> <ul style="list-style-type: none"> 避難所従事職員について、積極的に若手職員を配置ということで、体力の面では確かに理解はできるが、「心」「生活」という被災者への気配りやサービスができる職員として業務を遂行するには、打合せの実施だけでは不十分だと感じる。地域住民の目線に立ったもう一段階上の職員の強化が必要だと思う。 	市民課 国保年金課
	<p>【回答欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 避難所に 2 名の従事者で、若手・中堅職員で組んでいます。避難者への心配り等も含めた対応についても指導しています。 	
18	<p>施策シート：P3 5</p> <p>津波ハザードマップの改訂</p> <ul style="list-style-type: none"> 津波ハザードマップの改訂にあたり、津波の高さ・浸水の値を比較対象物を用いて危険度をさらにわかりやすくしてみてもどうか。(歩道橋と同じ高さ・ビル何階相当など) 	防災危機管理課
	<p>【回答欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成25年3月に全戸・全事業所に配布した津波避難ハンドブックに掲載しております。 	

No.	内 容	担当課
19	<p>施策シート：P6 11</p> <p>津波避難ビルの指定・整備検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津波避難ビルを市のホームページ内で検索したが、ヒットしなかった。津波避難ハンドブックからダウンロードして地図上で探すようでは、緊急時に対応できない。改善いただきたい。 ・既指定の津波避難ビルについて、夜間や休日の際の使用方法を事業所も含めた周辺避難対象者に徹底していく必要があると思われます。 <p>【回答欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津波避難ビルの一覧を市ホームページへ掲載いたします。 ・市ホームページに掲載するほか、津波避難訓練などの機会に津波避難ビルの使用方法について周知していきます。 	防災危機管理課

(2) 水・エネルギー対策の充実

質 問

No.	内 容	担当課																								
20	<p>意見への対応状況：P8 23</p> <ul style="list-style-type: none"> ・震災後の太陽光発電システムを導入した公共施設の発電実績と、今後導入を予定している施設のシステム設備概要をお知らせください。 <p>【回答欄】</p> <p>震災後に太陽光発電設備を導入した公共施設の発電実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>発電能力</th> <th>発電量</th> <th>集計期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>白山台ビル* 集会所</td> <td>4.8kW</td> <td>4,816kWh</td> <td>H25.8～H26.7</td> </tr> <tr> <td>多賀台集会所</td> <td>4.6kW</td> <td>4,020kWh</td> <td>H25.10～H26.7</td> </tr> <tr> <td>白山台公民館</td> <td>10kW</td> <td>19,897kWh</td> <td>H24.4～H26.3</td> </tr> <tr> <td>白銀公民館</td> <td>10kW</td> <td>6,620kWh</td> <td>H26.1～H26.7</td> </tr> <tr> <td>城北小学校</td> <td>10kW</td> <td>7,900kWh</td> <td>H26.1～H26.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>今後導入予定の設備概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校・・・太陽光発電設備10kW、蓄電池15kWh ・公民館・・・太陽光発電設備10kW、蓄電池10kWh 		発電能力	発電量	集計期間	白山台ビル* 集会所	4.8kW	4,816kWh	H25.8～H26.7	多賀台集会所	4.6kW	4,020kWh	H25.10～H26.7	白山台公民館	10kW	19,897kWh	H24.4～H26.3	白銀公民館	10kW	6,620kWh	H26.1～H26.7	城北小学校	10kW	7,900kWh	H26.1～H26.7	環境政策課
	発電能力	発電量	集計期間																							
白山台ビル* 集会所	4.8kW	4,816kWh	H25.8～H26.7																							
多賀台集会所	4.6kW	4,020kWh	H25.10～H26.7																							
白山台公民館	10kW	19,897kWh	H24.4～H26.3																							
白銀公民館	10kW	6,620kWh	H26.1～H26.7																							
城北小学校	10kW	7,900kWh	H26.1～H26.7																							
21	<p>施策シート：P18 5</p> <p>エネルギーシステム転換の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エネルギーシステム転換支援事業の実績をお知らせください。 ・「＜対象＞エネルギーシステムの転換に要する機械装置の整備等」とありますが、どのようなエネルギーの転換なのか、機械装置とは何かなどの具体的な内容を教えてください。 <p>【回答欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実績：平成25年度 1 件、補助金額200万円、クリーニング事業用ボイラーの更新（A 重油から都市ガスに燃料転換）にかかる経費の一部を補助 ・エネルギーは、事業者の自家用電気又は熱で、エネルギー源を重油から温室効果ガスを減少させる LNG や再生可能エネルギーなどに切り替える必要がある。機械装置は主に発電機やボイラーなど、電気や熱を発生させる装置を想定。 	産業振興課																								

No.	内 容	担当課																													
22	<p>施策シート：P21 11</p> <p>災害に強いまちづくり事業（電気自動車等購入費）</p> <p>・市庁に急速充電器を1台設置とありますが、来庁者も充電できるのでしょうか。</p>	環境政策課																													
	<p>【回答欄】</p> <p>・来庁者は充電できません。</p>																														
23	<p>施策シート：P21 15</p> <p>再生可能エネルギーの導入促進</p> <p>・今年度の予算額が約4億5千万円と大幅に増額となっているが、その事業内容についてお伺いしたい。また、来年度以降の計画についてもお伺いしたい。</p>	環境政策課																													
	<p>【回答欄】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>施設</th> <th>太陽光発電</th> <th>蓄電池</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">今年度</td> <td>小学校（1校）</td> <td>10kW</td> <td>15kWh</td> <td rowspan="2">体育館の高所照明のLED化</td> </tr> <tr> <td>中学校（5校）</td> <td>10kW</td> <td>15kWh</td> </tr> <tr> <td>公民館（3箇所）</td> <td>10kW</td> <td>10kWh</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">来年度</td> <td>小学校（2校）</td> <td>10kW</td> <td>15kWh</td> <td rowspan="2">体育館の高所照明のLED化</td> </tr> <tr> <td>中学校（3校）</td> <td>10kW</td> <td>15kWh</td> </tr> <tr> <td>公民館（2箇所）</td> <td>10kW</td> <td>10kWh</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>			施設	太陽光発電	蓄電池	その他	今年度	小学校（1校）	10kW	15kWh	体育館の高所照明のLED化	中学校（5校）	10kW	15kWh	公民館（3箇所）	10kW	10kWh	-	来年度	小学校（2校）	10kW	15kWh	体育館の高所照明のLED化	中学校（3校）	10kW	15kWh	公民館（2箇所）	10kW	10kWh	-
			施設	太陽光発電	蓄電池	その他																									
	今年度		小学校（1校）	10kW	15kWh	体育館の高所照明のLED化																									
			中学校（5校）	10kW	15kWh																										
			公民館（3箇所）	10kW	10kWh	-																									
来年度	小学校（2校）	10kW	15kWh	体育館の高所照明のLED化																											
	中学校（3校）	10kW	15kWh																												
	公民館（2箇所）	10kW	10kWh	-																											

意 見

No.	内 容	担当課
24	<p>意見への対応状況：P5 8、P8 25</p> <p>・アイスアリーナを含め、いつ何時、エボラ出血熱のようなパンデミックが起こるかわかりません。福島県郡山市の開成山公園を例に整備をお願いします。一から整備するほうが安上がりです。</p>	<p>防災危機管理課</p> <p>スポーツ振興課</p> <p>屋内スケート場建設推進室</p>
	<p>【回答欄】</p> <p>（防災危機管理課）</p> <p>・今後、防災拠点施設としての施設整備を実施する際は、担当課と協議のうえ、パンデミック等への対策を検討していきたいと考えております。</p>	
25	<p>施策シート：P22 施策を取り巻く課題や論点</p> <p>・再生可能エネルギーの導入促進が進んでおり、エネルギー源の多様化を進めることはエネルギー確保の点で好ましいことと思います。八戸市はエネルギー創出の点で大変ユニークな地域です。火力、コンバインドサイクル、メガソーラー、LNG等多くのエネルギー関連施設が集積した拠点になっていると思います。これらは、日本のエネルギーのベースを担うものでもあります。エネルギーの確保と環境保全のバランスの取れた取り組みは世界的な規模でも重要になっています。そうした深い思慮を求めることができる適切な地でもあると思います。こうした多面的、重層的な観点で市民への情報提供をお願いしたいと思います。</p>	環境政策課
	<p>【回答欄】</p> <p>・情報提供に努めます。</p>	

(3) 災害に強い地域づくり

質 問

No.	内 容	担当課
26	<p>施策シート：P23 参考指標の動向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織の状況について、平成25年5月末から平成26年7月末で組織数が減少した理由をお知らせください。 <p>【回答欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 25 年 5 月に城下一～四丁目自主防災会、沼館自主防災会、淀自主防災会が合併したことにより 6 減 1 増となり、組織数が 85 組織から 80 組織に減少しております。 	防災危機管理課
27	<p>施策シート：P25 3</p> <p>災害時要援護者支援事業の推進（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者という年齢の規定は何歳でしょうか。認知症・独居・字を書けない方もおり、未登録も考えられることから、柔軟な体制で要援護者登録と支援に臨んでいただきたい。 ・1年間に100人近くの高齢者が増えている現実がある。今後の予定に支援体制等の見直しなどがあるが、今後の事業予定について、内容を知りたい。 <p>【回答欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者は、概ね 65 歳以上の方と考えております。名簿登録や災害時の支援については、民生委員等からも協力をいただきながら、要援護者の状況に合わせて柔軟に対応してまいります。 ・要援護者の状況に合わせた支援が行えるよう、平成 26 年 6 月に事業の見直しを行い、対象の可能性のある市民 28,000 人に名簿登録の勧奨を行いました。登録は、実効性を高めるために、自力避難が困難な「A 登録（要避難支援）」と、避難に時間を要する「B 登録（要情報伝達）」に分けて行い、11 月頃には地域等へ名簿を提供して、地域の中で助け合う体制の構築を目指してまいります。 	福祉政策課
28	<p>施策シート：P30 20</p> <p>県外避難者の受入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県外避難者の受入について、市民との交流イベントを増やし、県外避難者の方たちに八戸を第2の故郷と言ってもらえるような事業を実施してほしい。まちなかを案内したり、朝市などで市民との交流を増やすなど、「心」の部分で強い八戸になるような事業を実施してはいかがかと感じる。また、チームkokoroがどのような組織なのか教えてください。 <p>【回答欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県外避難者交流会は、県が実施団体に補助金を交付し開催を支援しており、市としても協力をしております。まちなか・朝市散策のご提案について、今後の案としてチームkokoroへの情報提供を検討します。 ・チームkokoro：八戸工業大学の先生が代表、学生が会員となり、災害ボランティアコーディネーターを目指すことを主たる目的とし、災害ボランティア、避難者及び被災地の支援等を行っている団体です。 	防災危機管理課

意見

No.	内 容	担当課
29	<p>施策シート：P24 1、P26 5</p> <p>災害ボランティアセンターの運営内容の充実 自主防災組織の結成促進や活動支援・リーダー育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災ボランティアコーディネーターも防災士も、各地域の防災力向上には欠かせない人材です。県の養成研修会や防災土育成事業実施については、一般市民も受講できるよう配慮し告知していただきたい。 <p>【回答欄】 (市民連携推進課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当市では、東日本大震災発生時に初めて「災害ボランティアセンター」が設置された。 ・ センター運営の課題として、防災ボランティアコーディネーターが不足していたことが挙げられる。 ・ 防災ボランティアコーディネーターは、各地域の防災力向上に欠かせない人材である。 ・ 県の養成研修会開催時には、ホームページ等により一般市民にも周知していききたい。 <p>(防災危機管理課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災土事業については、市ホームページで周知しております。 	<p>市民連携 推進課</p> <p>防災危機 管理課</p>
30	<p>施策シート：P26 6</p> <p>海を生かした地域づくり活動の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 八戸港カッターレースへの補助金をいただいている立場ですが、今回は天候不順で開催できませんでしたが、全国に八戸は元気だよと発信できるイベントです。被災地仲間の宮古市などを呼ぶなど、全国に広げたり、さらに市民が港に親しむには、もう少し規模を大きくしたいと考えている。そのためには、もう少し補助金をいただきたいと考えますが、増額と連続でいただける施策がほしい気がします。 <p>【回答欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 海のイベント助成金は、東日本大震災からの復興に向けた全市的な気運の醸成を図るため、市民団体等が行う海を生かしたまちづくりに寄与するイベントに助成するもの。 ・ 当助成金は、 助成額に50万円の上限があること 特定の団体に補助するものではなく、毎年度審査により補助事業団体を決定する制度であること から、 現行制度では助成金の増額及び特定の団体への継続補助はできません。 	<p>政策推進課</p>
31	<p>施策シート：P28 10</p> <p>アートのまちづくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 南郷アートプロジェクトは、良い事業なのに知名度が上がリません。他の周知方法などを試した方が良いのではないのでしょうか。 <p>【回答欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在、広報はちのへをはじめ、ポスター、チラシ、新聞、ラジオ、ホームページ、フェイスブック、更に、南郷区内においては、定期的に「かわら版」を発行し、無線放送でも呼びかけるなど、周知に努めている。 	<p>まちづくり 文化推進室</p>

No.	内 容	担当課
32	<p><u>施策シート：P31 施策を取り巻く課題や論点</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちに被災時の対応を考えさせ、防災意識を高める事業は効果的である。幼いうちから正しい防災意識を持たせることが被災時の減災につながります。子どもたちは教えられたままに行動することができます。その子どもたちは地震時にはとにかく逃げることを教わります。 これに対して大人たちは長年の経験が災いする部分として、こうした状況を過小評価しがちな傾向があります。 震災時、子どもたちのとっさの退避行動が大人たちの行動を促す大きな契機にもなります。 	防災危機 管理課 教育指導課
	<p>【回答欄】 (教育指導課)</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年度、小・中学生用の防災教育副読本を作成し、平成27年度に全児童生徒に配布する計画である。 市内小・中学校が開催する防災教室に対して講師を派遣し、自らの危険を予測し、危険を回避しようという態度や能力の育成を図っている。 	

その他

質 問

No.	内 容	担当課
33	<ul style="list-style-type: none"> 防潮堤計画の進捗状況と今後の予定をお知らせください。(できれば図面にてお願いします。) 	港湾河川課
	<p>【回答欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> 別紙資料のとおり 	

意 見

No.	内 容	担当課
34	<ul style="list-style-type: none"> 最近では土砂災害や浸水など予想しない自然災害が起こっており、震災の教訓も月日とともに風化してきている。減災のためにも、市民への防災活動と子どもたちへの防災教育を継続して行っていただきたい。 	防災危機 管理課 教育指導課
	<p>【回答欄】 (防災危機管理課)</p> <ul style="list-style-type: none"> 広報はちのへ等を利用した広報活動や地域の防災訓練への支援等を継続してまいります。 (教育指導課) 今年度、小・中学生用の防災教育副読本を作成し、平成27年度に全児童生徒に配布する計画である。 市内小・中学校が開催する防災教室に対して講師を派遣し、自らの危険を予測し、危険を回避しようという態度や能力の育成を図っている。 	

No.	内 容	担当課
35	<p>・防災力の強化のためにはハード面の対応も重要ですが、結局は住民一人一人の防災意識の高揚・持続が必要だと思えます。</p> <p>防災意識の高揚・持続のためには、地域や民間事業所単位の防災訓練の定期的・反復の実施が効果的だと考えています。</p> <p>そのためには、市や関係官庁の継続的な指導やサポートなどの積極的関与が不可欠で、今後ともいろいろな取り組みをお願いします。</p> <p>【回答欄】</p> <p>・防災訓練への助言、防災講習会の開催について、今後とも継続していきます。</p>	防災危機管理課
36	<p>・LNG、ガスタ・ピン、新エネルギー・基地など、さらにいろいろな産業集積をにらむ八戸市であります。今こそ産業観光振興プランを確立し、集客と市のブランドイメージを上げるべきです。</p> <p>【回答欄】 (観光課)</p> <p>・八戸商工会議所では、産業施設紹介パンフレット「ものづくり紀行」の作成や、「産業観光Web」を開設したが、工場見学の受け入れなどに対する意識は事業所により様々で、現実的にはなかなか進んでいないのが現状である。</p> <p>・八戸広域観光推進協議会と連携して、工場夜景ツアーなど、産業観光を意識した旅行商品の造成、情報発信を継続している。</p> <p>・今後、産業観光を推進するには、地元企業のさらなる理解と協力が必要と考えており、商工会議所等とも情報交換を図りながら進めていきたい。</p> <p>(産業振興課)</p> <p>・集客とブランドイメージの構築は重要と認識しているものの、自動車メーカー、食品メーカー並びに大企業の本社が立地してその記念館や博物館といった来客用の施設があるわけではないので、企業の衛生面・安全面の確保、安定操業及び説明者の確保に配慮した上での検討が必要。</p>	観光課 産業振興課
37	<p>・公園や避難所などの整備の際、防災トイレをベンチなどに組み込む整備などを考えてほしい。女性やお年寄りなどが停電・断水の際に一番困るのはトイレです。首都圏でも公園のベンチなどを下水に直結したりできるように整備しています。</p> <p>【回答欄】</p> <p>・公園や避難所への防災トイレ整備について、現在のところ整備の予定はございません。</p> <p>・市では、災害時における仮設トイレ等の資機材提供について、青森県建設機械リース業協会と災害時応援協定を締結しています。</p>	防災危機管理課
38	<p>・広範囲で大規模な災害が発生して石油燃料の優先供給が必要になった場合は、公共交通（特にバス）を無料開放してみてもどうか。</p> <p>給油所の混雑解消にもなるのではないだろうか。</p> <p>【回答欄】 (都市政策課)</p> <p>・大規模災害時には、地域全体の燃料不足が予想される中で、路線バスを運行するためには、バスの燃料を確保する必要があることから、平成24年度に策定した八戸市災害時公共交通行動指針に基づいて、まずバスの燃料確保に努めるとともに、燃料の供給状況や給油所の混雑状況等を勘案しながら、無料運行が適切と判断されるケースにおいては、バス事業者等と協議・連携し臨機応変に対応してまいります。</p>	防災危機管理課 都市政策課

共通事項・全体的事項

質 問

No.	内 容	担当課
39	意見への対応状況：P1 2 <ul style="list-style-type: none"> ・「新しい東北」からの復興情報はどのように情報発信され復興への取り組みの推進になったのでしょうか。 また、支援機関との復興推進事業の内容と進捗状況をお知らせください。 	政策推進課
	<ul style="list-style-type: none"> ・「新しい東北」とは、被災地の復興に向けた取組をさらに加速化することを目的に、平成 25 年度から復興庁が主体となって進めている取組 ・復興庁では、平成 25 年 7 月、「新しい東北」先導モデル事業の募集を開始 平成 25 年度：66 事業選定（成果については、復興庁ホームページ内で公表） 平成 26 年度：98 事業選定（うち 46 件は平成 25 年度からの継続事業） ・市ホームページ内に「新しい東北の実現に向けて」というページを設け、情報の周知に努めている。 ・「新しい東北」官民連携推進協議会（平成 25 年 12 月設立）に会員登録し、情報の収集に努めている。 ・「新しい東北」先導モデル事業の採択事業の一例は、別紙資料のとおり（「源生林あしたば栽培による津波被災地域再生と健康食材・飼料開発を通じた産業づくりの基盤構築」、「三陸ジオパーク構想観光推進事業」） 	

意 見

No.	内 容	担当課
40	<ul style="list-style-type: none"> ・先日の現地視察会は大変有意義でした。 経費等の問題もあると思いますが、いずれかのタイミングで市民にも視察の機会を設けてみてはいかがでしょうか。 	政策推進課
	<p>【回答欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復興事業等の市民周知については、市民委員会からのご意見を踏まえ、市の広報紙やホームページなどを活用し、積極的に市民へ広報するよう努めている。 ・今後とも、市の広報紙及びホームページ等の広報媒体を活用し、広く市民の皆様へ復興状況の情報を発信してまいります。 	
41	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 26 年 7 月 24 日（木）に行われた八戸市復興計画推進市民委員会現地視察会は、私にとって大変有意義なものでした。書面の数値で思慮する震災復興の状況に比べて、実地の視察は、それぞれの事業の規模や地理条件を目の当たりにすることにより、その必要性等をより明確に認識することができました。 市民の方々にも震災復興の状況に少なからず強い関心を持っている方もいるのではないのでしょうか。可能ならば市民の方々にも視察の機会が設けられれば良いと思いました。 	政策推進課
	<p>【回答欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見No.40と同じ 	